

## 平成26年度事業計画

### 【総括】

宮崎県体育協会は、公益財団法人に移行して3年目を迎えるにあたり、より一層県民の利益の向上に寄与する公益法人の使命を自覚し、加盟団体等と連携して、定款に定める目的にそって、公益目的事業を積極的に推進する。

- ・自主財源確保事業  
賛助会員募集、香典返し寄付金募集、HPバナー広告募集、協賛広告募集、自動販売機設置者募集を行う。
- ・加盟団体との意見交換を積極的に進め連携を強化する。
- ・スポーツ界における不祥事防止に向けた啓発に努める。

### 1 競技力向上事業

継続、安定した高い競技力を目指し、関係機関団体と連携して、現状分析、方策・事業等の検証と改善、本会、競技団体の組織運営の向上、指導者の育成、県民の理解、支援拡大等に取り組む。

- (1) 選手強化事業
- (2) ジュニアブリッジ養成事業
- (3) スポーツタレント発掘事業
- (4) 組織整備事業
- (5) 強化推進事業
  - ・競技団体との協議：10月～12月
  - ・選手強化対策会議開催
  - ・国民体育大会強化指定証交付
  - ・競技団体、選手、指導者の視察、激励
  - ・競技力向上事業に対する支援要請
  - ・社会人選手、指導者の就職支援
- (6) 競技スポーツ特別強化対策事業
  - ・競技力向上支援
  - ・ジュニア日本代表支援
  - ・大学、社会人スポーツ等支援

### 2 国民体育大会派遣事業

国民体育大会への選手派遣、帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保、派遣等、試合環境の整備を推進する。

- (1) 国民体育大会九州ブロック大会派遣
  - ・夏季大会：5月～7月、熊本県、長崎県で開催
  - ・秋季大会：8月、熊本県で開催
  - ・冬季大会：12月、熊本県で開催
- (2) 国民体育大会派遣
  - ・本大会：9月～10月、長崎県で開催
  - ・冬季大会：1月～2月、群馬県で開催
- (3) コーチ派遣
- (4) ドクター、トレーナー派遣
- (5) (新)平成28年度国民体育大会第36回九州ブロック大会開催
  - ・会場予定地訪問（県内外）
  - ・担当者打合会の実施（会場地、日程調整）
  - ・準備委員会の実施（大会概要、事業推進計画検討、総則・細則等の検討）
  - ・宿泊斡旋業者選定会議の実施
  - ・競技団体、市町村とのヒアリング

- (6) (新) 2巡目国体開催に係る調査及び検討
  - ・ 2巡目国体開催に係る調査
  - ・ 2巡目国体開催に係る検討会の開催
- 3 みやざき県民総合スポーツ祭事業  
大会参加者を増加するため広報を強化し、競技者、観戦者の視点に立って開催時期、種目、運営方法等を見直す。
  - ・ 開会式：5月31日（土）
- 4 スポーツ指導者養成事業  
公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組むとともに、公認指導者情報の整理を推進し、地域のスポーツ指導者活用・養成の取組を支援する。
  - ・ 日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会開催
  - ・ スポーツ指導者研修会開催：2月7日（土）
  - ・ スポーツ指導者等活用事業：公認スポーツ指導者等の情報整理、発信及び公認スポーツ指導者等の派遣
- 5 地域スポーツ振興事業  
競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の認識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進する。
  - (1) 総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
    - ・ 未設置8町村設置に向けての取組みを強化する。
    - ・ クラブアドバイザーをみやざき広域スポーツセンター（広域センター）に派遣し、広域センター、総合型クラブ連絡協議会と連携して、クラブ関係者連絡会議、クラブ運営研修会、クラブマネージャー研修会等の開催、クラブ訪問、運営指導、市町村主管部局の訪問、設立要請等を行う。
  - (2) 加盟団体育成補助
  - (3) (共催) 第5回宮崎チャレンジマッチ開催
    - ・ 6月28日（土）、6月29日（日）、剣道競技・なぎなた競技で開催
  - (4) (名義後援)
    - ・ 加盟団体等の事業、大会を後援する。
    - (共催)
      - ・ 宮崎縣市町村対抗駅伝競走大会
      - ・ 宮崎チャレンジマッチ（6月28日（土）～6月29日（日））
      - ・ ミヤザキ・スポーツリーダーズセミナー（12月13日（日））
      - ・ UMK青少年スポーツフェスタ（3月14日（土）～15日（日））
      - ・ 宮崎県エンジョイスportsフェスティバル（10月26日（日））
- 6 スポーツ医・科学事業  
引き続き宮崎県体育協会認定アスレティックトレーナー（AT）養成講習会を実施し、ATの確保、活用を推進する。
  - ・ ドーピング防止研修会開催：年2回
  - ・ メディカルチェック実施：選手約100名を対象に実施予定
  - ・ スポーツ相談
  - ・ 宮崎県体育協会認定AT養成講習会開催
  - ・ ドクター、AT養成事業：ドクター、ATを日本体育協会公認講習会に派遣
  - ・ 国民体育大会の帯同ドクター、AT派遣
- 7 スポーツ顕彰事業  
表彰の推薦及び表彰事務が適正、円滑に行われるよう規程等を整備する。

- ・スポーツ功労賞
- ・スポーツ優秀賞
- ・スポーツ奨励賞
- ・国民体育大会表彰
- ・スポーツ少年団表彰
- ・スポーツ推進賞

## 8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び他のスポーツ団体との連携など課題解決に組織全体で取り組む。

- (1) 宮崎県中央大会開催：開会式7月5日（土）
- (2) 競技別交流大会開催、同派遣
- (3) 認定員養成講習会開催：年2回
- (4) リーダー研修会開催、同派遣
- (5) 指導者研修会開催、同派遣
- (6) 母集団育成研修会、モデル市町村育成研修会、ブロック別研修会開催
- (7) 宮崎県スポーツ少年団創設50周年記念事業開催

## 9 広報及び記録収集、活用事業

本会、加盟団体及び本県スポーツに対する認識向上のため、あらゆる機会を利用して、情報を発信する。

- (1) 広報
  - ・宮崎体協発行：年2回、各2,000部配布
  - ・スポーツイベント発行：年4回、各100部配布
  - ・HP運用改善：引き続き改善、改修を行い、加盟団体との連絡手段、各スポーツ少年団の情報掲載、本会事業の写真展示等積極的に活用する。
  - ・SNS活用：フェイスブック等を活用した即時の情報発信に努める。
  - ・（新）国民体育大会への関心を高めるに、ポスター、ビジョンを活用した啓発に努める。
- (2) 記録収集、活用
  - ・本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集、管理し、県民に提供する。

## 10 スポーツ交流事業

日本体育協会の交流事業等を活用して、スポーツ交流を拡大する。

- ・日独スポーツ少年団交流事業